



# 「ふれあい市 くすのきエコDAY」で 子どもたちがパンやクッキーを販売

企業との協働  
子どもの健全育成



NPO  
法人

すぎとSOHOクラブ  
(杉戸町)

企業

オープンフレッシュ  
ベーカリー「ラパン」  
(杉戸町)  
菓子工房アトリエ  
「ル・ミュゲ」  
(杉戸町)

NPO法人が地域の活性化のために、毎月第1土曜日に杉戸高野台駅西口で「ふれあい市 くすのきエコDAY」を開催。

産直野菜や手作り品の販売が行われる中で、地元のパン屋・洋菓子店では、NPO法人が募集した子どもたちが店員として働く体験をしている。

## 協働のきっかけ

NPO法人は新興住宅地で団地も立ち並ぶ駅前の活性化のため、ふれあい市を始めた。

地元商店に出店の声かけをしたり、会場の清掃ボランティアにはふれあい市で使える商品券を配ったりするなど、多くの人に来てもらう工夫をしてきた。

2010年からは、子どもたちが働く体験ができる場を提供してくれるよう、NPO法人が地元の商店に声をかけたところ、パン屋と洋菓子店が協力した。

## 協働のメリット

NPO  
法人

子どもが店員として働いているので、訪れた保護者や客、店舗のスタッフといった大人同士が交流する機会を作れ、テーマである「ふれあい」を実現できている。



企業

以前から、小学校での出張授業や、小学生の働く体験活動の受入れを行っているので、店のPRというより社会貢献の一環として行っていたが、今回のふれあい市での取組は、まちの活性化にもつながる新しい取組になった。

## 苦労・工夫したこと

NPO  
法人

子どもたちには働くことでお金を稼ぐ体験ができるように、ふれあい市で使える商品券を渡している。

現在、協力店舗は2店だけだが、もっと多くの子どもたちが参加できるよう、他の商店にも働きかけていきたい。

企業

子どもたちが計算しやすいようにパンは400円、お菓子は300円均一としている。

現在は12時で販売を終了しているが、ふれあい市は14時まで開催しているので、今後は午後まで販売を行い、もっと多くの子どもが参加できるようにしたい。

キーワード

まちの活性化 小学生の参加